

受講  
受付中

講義

ワーク  
ショップ



# デザインで これからの医療の未来を描く

本学は 10 年前から、附属病院をはじめとする近隣の医療機関と芸術系の教員や学生が連携し、アートやデザインによる医療環境の改善に取り組んでまいりました。本講座では、医療やヘルスケアを取り巻く課題に取り組むための足がかりになるように、医療とデザインに関する実践・研究者による講義、デザイン思考やアイディエーションの手法を学ぶ演習をおこないます。医療従事者は、自分たちの視点だけでは解決が難しい課題に対する方略について、医療とデザインに関心がある非医療従事者は、普段は知ることができない医療現場の課題について学ぶことができます。

## 私たちと未来を 描きましょう！

感覚多様性をふまえたセンサリーデザイン

センサリー  
デザイン



**小山慎一**  
筑波大学芸術系 教授  
心理学・脳科学をデザインに応用することによって、多様な感覚をもつ人々が互いに理解しあい、今まで以上に能力を発揮できる社会を作ることを目指している。  
<https://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/koyamab/>



看護とデザインエンジニアリング

デザイン  
エンジニアリング



**吉岡純希**  
NODEMEDICAL 代表取締役社長、慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所属、看護師

集中治療室や在宅での看護師の臨床経験をもとに、テクノロジーの医療現場への応用に取り組む。病院でのデジタルアート「Digital Hospital Art」をスタート。慶應義塾大学 SFC にて「FabNurse プロジェクト」に参画。2018 年より、研究の実践を社会に実装するため、株式会社 NODE MEDICAL を設立。  
<https://nodemedical.co.jp/>



## 医療 × デザイン

空間デザイン

協働による医療環境のデザイン



**岩田祐梨**  
チア・アート理事長  
筑波大学芸術系 研究員  
筑波大学附属病院をはじめとする医療福祉施設と連携し、アート&デザインプロジェクトの実践、研究、普及に取り組む。2017 年、筑波大学芸術系の教員らと特定非営利活動法人チア・アートを設立。専門は、協働・共創による医療福祉環境のデザイン。 <https://www.cheerart.jp/>



ビジュアル  
コミュニケーション  
デザイン

医療におけるビジュアルコミュニケーションデザイン



**桑畑 健**  
日本医療デザインセンター 代表理事



筑波大学 芸術専門学群 視覚伝達デザイン専攻卒業。2018 年 2 月に一般社団法人日本医療デザインセンターを設立し代表理事に就任。「医療デザイン」をテーマにソーシャルグッドプロデューサー、医療デザイナーとしてクリエイティブワークを展開中。  
<https://mdc-japan.org/>

筑波大学におけるバイオデザインメソッドを用いた医療機器開発の取り組み

バイオ  
デザイン



**野口裕史**  
筑波大学附属病院整形外科、病院講師 (T-CReDo)



現役整形外科医でもあり、脊椎脊髄病学会指導医や医療機器の研究開発に関わり、現職にて橋渡し、Stanford Biodesign Global faculty in training program を修了し、国内で Global faculty として活躍。  
[https://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/news/202008cdc\\_book.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/amedrc/news/202008cdc_book.html)

※カリキュラムは裏面をご参照ください

開催日：2022 年 5 月 15 日～7 月 10 日 (全 5 回)

開催方法：オンライン開催 (ZOOM 使用) オンライン演習 (グループワーク) あり  
※パソコンでの参加が必須になります

受講対象：医療従事者、福祉施設の職員、医療とデザインに関心がある方  
※応募者多数の場合は、医療従事者を優先

受講人数：30 名 (最小開講人数 10 名)

受講費用：32,000 円 (税込)

### こんな人におすすめです

- 医療現場の改善のアイデアはあるのに、具体化できない
- 医療環境を改善すべきなのに、何をすればいいかわからない
- 医療現場のニーズを学びたいが、どうすればいいかわからない

主催：国立大学法人 筑波大学  
協賛：特定非営利活動法人 チア・アート  
一般社団法人 日本医療デザインセンター

事務局：筑波大学エクステンションプログラム事務局  
※本プログラムの協賛とは広報支援 (関係企業へのチラシ配布及びダイレクトメール送信)

[デザインでこれからの医療の未来を描く]

お申し込み HP・お問い合わせはメールにて

[ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp](mailto:ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp)

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>



## 開催日程

開催時間：13:00-14:00 講義、14:00-16:00 ワークショップ

日にち	《前半》講義（1時間）	《後半》演習（2時間）
第1回 5/15（日）	協働による医療環境のデザイン 講師：岩田祐佳梨	<b>デザインワークショップ</b> 参加者の皆さんが抱く医療やヘルスケアの課題を扱いながら、デザインの思考や手法を体験できる参加型のデザインワークショップを開催予定です。
第2回 5/29（日）	感覚多様性をふまえたセンサリデザイン 講師：小山慎一	
第3回 6/12（日）	看護とデザインエンジニアリング 講師：吉岡純希	
第4回 6/26（日）	筑波大学におけるバイオデザインメソッドを用いた医療機器開発の取り組み 講師：野口裕史	
第5回 7/10（日）	医療におけるビジュアルコミュニケーションデザイン 講師：桑畑健	

### 参加者が得られる学び

デザインを通して新しいアイデアが生まれ、普段考えている課題が突破できるということを体験できます。学びながら医療現場に活かせるヒントやきっかけを得るが共有できます。

## 開催方法

オンライン開催（ZOOM 使用）  
オンライン演習（グループワーク）あり  
※パソコンでの参加が必須になります

## 受講対象者

医療従事者、福祉施設の職員、医療とデザインに関心がある方  
（応募者多数の場合は、医療従事者を優先）

受講人数：30名（最小開講人数10名）

受講費用：32,000円（税込）

申込締切：2022年4月17日（日）まで

修了証発行：5日間で3日以上プログラムに参加した受講者には、筑波大学発行の受講修了証が授与されます

## この講座について

### 【オンラインで実施します！】

受講期間：5月15日（日）～7月10日（日）

講義1～5回をリアルタイムでオンライン受講していただきます。毎回、オンラインでグループワークを実施します。インターネットに接続されたカメラ付きPCよりご受講下さい。

### 【もしもの場合に！】

通信状況が悪かった場合などに考慮し、記録として残した映像（講義部分のみ）を見逃し配信する予定です。

※受講方法の詳細は、受講者に決定された方へ追ってご連絡いたします。

## お申し込み方法



### WEBサイトより

WEBサイトにアクセスし、お申し込みフォームよりお申し込み下さい。



### 講座を選択

希望の講座ページよりお申し込み下さい。



### お支払いは 簡単カード決済

ページ払いも対応  
pay-easy

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>

※お申し込みは先着順となります。受講可否については後日事務局より連絡いたします。

お申し込み  
お問い合わせ

## 筑波大学 エクステンションプログラム

筑波大学エクステンションプログラム事務局

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2 高細精医療イノベーション棟1F

Tel:029-859-1648（受付時間：月～金 9:30～17:00）

お申し込みはHPにて

お問い合わせはこちらから

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp>  
[ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp](mailto:ep-sanren@un.tsukuba.ac.jp)

